

(様式第7号)

## おおさかグローバル奨学金留学報告書

平成 26年 05月 12日

学 校 名				奨 学 金 交 付 年 度	
氏 名					
留 学 期 間	平成 26年 9月 1日 ~ 26年 2月 28日				
留 学 先	国 名	イギリス	学校名	シティ大学ロンドン	
専 攻	コンピュータサイエンス				

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

シティ大学ロンドンのコンピュータサイエンス学部の研究所に半年間の留学をしました。現在の遠隔コミュニケーション手段の多くは電話やビデオチャットのように視覚や聴覚に頼ったものばかりであり、対話相手の存在をしっかりと感じるためには不十分でした。この研究室では、味覚、嗅覚、触覚を使ったコミュニケーションメディアの開発をしており、その中でも私はキスコミュニケーションメディアの研究を行いました。このデバイスは対話相手とキスができるスマートフォンデバイスで、遠隔地にいる大切な人にキスをすることが可能です。自分の開発したプロトタイプはBBCのテレビやラジオ番組にも取り上げられました。日本の研究所ではスーパーバイザーが多くの指示を与えることがよく見られる光景ですが、海外の研究室ではスーパーバイザーはほとんど指示を与えないので学生が自ら考え一人で研究をしていかなければなりません。この経験は研究への取り組み方や考え方を大きく変えました。ここでの経験は日本に帰ってからの研究生活にも大きく役立つことでしょう。また、イギリスのロンドン、シェフィールド、エディンバラの小学校で子供に向けたロボットワークショップの運営を教授らと協力して自ら行いました。日本では小学校の授業でソーラーパネルと電池を使った簡単なロボットキットなどの組み立てを行うと思うのですが、イギリスではそういった授業がありません。このワークショップの子供たちからのコメントでは、プログラムはもちろんだけどドライバーも初めて使った、将来クリエイティブな仕事をしてみたいと思ったなどとポジティブなコメントが多く得られ、このワークショップを通じて子供達をエンジニアリングに興味を向けさせることに成功したと言えます。ロンドンでの生活で一番苦労したことは部屋探しで、ネットで探したフラットに滞在していました。大家さんは空き部屋を早く埋めたくて仕方ありません。なので、出国前にビューイングの候補がいくつかあったのですが、当日になって別の人に譲ってしまったということがよくあります。残念ながらこれが私にも起こり、到着早々から野宿をしないとイケないような状況になりました。結局急いでホステルを予約して、そこに滞在中に部屋を探しました。出国1ヶ月以上前だと、おそらく大家さんに相手にもされないと思うので、2週間程前になったら様々なサイトを利用して十分すぎる程の候補を持っておくことをお勧め致します。英語に関してですが、まず自分の能力は 留学2年ほど前に TOEIC を受け、750 弱

くらいでした。しかし、英会話に通ったことがないのでどうリスポンズしたらいいのか分からず会話は全くできないレベルでした。留学中は同僚との議論など全て英語なので初めは苦勞しましたが、だんだんと慣れて議論に参加できるようになっていきました。日本語と英語は一人一人に対応しないので、辞書に書いてあっても少しニュアンスが違って通じない時がありました。また、日本人が全ての漢字や熟語を知らないように、ネイティブにも知らない単語は存在します。特に、研究に関する単語となるとこれが時々起こります。研究で使うような難しい単語は、簡単なものに置き換えられることがあり、日常会話ではこの簡単なものの方がよく使われます。このように留学を通じて、辞書や教科書で間違っただけで教えられてきた英語に気がつくことができるのは大きなメリットだと思います。留学をした人、もしくは日本で頻繁に日本人ではない人と話す機会がある人しか気がつくことができないと思うので。また、留学前に簡単な日常会話程度はできるようにしておくべきだと思います。これすらできないとコミュニケーションが取れないので色々なところでトラブルに巻き込まれる危険があります。会話にならない時に誰もが優しく対応してくれる訳ではありません。舌打ちされてもういいよと言われることもよくあると思います。自分が経験した中で衝撃的だったのは、イギリスに留学中の男子数人のグループがホステルで外国人ともめていました。日本人に理由を聞くと、自分たちは何もしていないのに同室の外国人が怒ってくるとのことでした。その外国人に理由を聞いてみると、寝たいから電気を消してるのに、何回もあいつらが電気を付け直してくるとのことでした。地域にもよると思いますが、ホステルではドラッグをしている人が普通にいますのでこのようなトラブルに巻き込まれないためにも留学準備は大切です。研究を通じて英語を学習していったので語学学校のことはあまり分からないのですが、現地で会った語学学校に通っている日本人でスムーズな会話ができる人には一人も会ったことがありませんでした。留学や語学学校に期待しすぎず、結局は自分で勉強しないといけないということは意識しておいた方が良いでしょう。もちろん、日本語を話すことができる外国人なんてそうそういるものではないので、日常生活の中で英語を使うことは必須です。日本と比べたら英語を自然と学習する機会は多いと思いますが、それだけでは不十分だと思うので、学習プランをしっかり立ててからの留学をお勧め致します。